

共用品推進機構だより 2016年11月04日(30)

目次

(139) 共用品推進機構関連記事

- ▽「100円ショップで見つけた共用品／星川安之、機構個人賛助会員 芳賀優子」
- ▽「共用品が広げる新たな可能性 パッケージの工夫／星川安之」

(140) 各種催しとお知らせ

- ▽「平成28年度 福祉用具講習会『第4回南多摩福祉機器展』開催のお知らせ」

(141) 新刊紹介

- ▽『自閉症スペクトラムの子のソーシャルスキルを育てる本
幼児・小学生編』
- ▽『知的障害児・者のスポーツ』
- ▽『発達障害の僕が輝ける場所をみつけられた理由』
- ▽『ADHDを抱えた小さな心の名医 オンデマンド』
- ▽『福祉行政の基礎』
- ▽『心は天につながっている ダウン症の書家、愛と勇気の贈りもの』

(139) 共用品推進機構関連記事

▼「100円ショップで見つけた共用品／星川安之、機構個人賛助会員 芳賀優子」

共用品推進機構では障害の有無、年齢の高低にかかわらず共に使える共用品を、毎年調査を行いその市場規模を把握しています。しかし、メーカーも共用品だと気づかずに製造・販売しているモノもあります。そのため、テーマを決めてお店めぐりを計画しました。

初回は「目が見えづらくても、使いやすいモノ」を探しに、100円ショップめぐりを行いました。ショップめぐりのパートナーには、芳賀優子さんをお願いしました。

芳賀さんは、弱視（ロービジョン）で、世の中の色は白黒テレビのように映っています。

2週間弱、商品を使ってみた芳賀さんの感想を紹介します。

まず、「日頃のちょっとした不便を、ちょっとしたアイデアで解決しようとする商品」がたくさんあるのに驚いた。

弱視にとっての「見やすさ」が、一般の市場で市民権を得てきていることを、罫線のはっきり書かれた便箋やマーカーで実感した。

色覚異常がある私にとって、ペン本体に色の表記があることはとても重要。色の表記があれば大きなバリア解消となるし、みんなにとって「色間違いのうっかりミス」を減らすことに役立つと思う。

共用品の原点の一つは「ちょっとした工夫で不便さを減らしていく」こと。100円ショップが、使う人とつくる人の交流の場として、私たちの身近にあり続けてほしいと、心から願っている。

（福祉介護テクノプラス 2016年8月号より抜粋）

▼「共用品が広げる新たな可能性 パッケージの工夫／星川安之」

障害の有無、年齢の高低等に関わらず、共に使える製品やサービスは家庭内に数多く存在しています。

冷蔵庫の中。牛乳の紙パック、ジャムの瓶、ケチャップなどこれらの製品のパッケージには、目が不自由な人でも触って他の類似の容器と識別できる工夫があります。

実は、柏餅にも、こし餡と味噌餡を触って識別できる工夫が存在していたことが、江戸時代に発行された文書の中に書いてあります。そこには柏の葉を表にして巻くか、裏にして巻くかで、「こし餡」と「味噌餡」を区別していると記されているのです。

ただ残念なことに、現在の和菓子屋さんでこのことを知っているのは10軒に1軒ほどで、その理由は正式な文書として受け継がれてこなかったことにあります。

そのため、今回紹介したパッケージを触って識別する工夫は、「包装」というタイトルの日本工業規格（JIS）の中で規定されています。しかも、このJISは日本から国際標準化機構（ISO）に提案し、議論を重ね、国際規格になっています。

（月刊トイジャーナル 2016年9月号より抜粋）

(140) 各種催しとお知らせ

▼「平成28年度 福祉用具講習会『第4回南多摩福祉機器展』開催のお知らせ」

日時：平成28年 11月19日（土）～20日（日）10時～17時

＊第12回医療と介護と地域をつなぐ会フォーラム 同時開催

＊第37回八王子いちょう祭り 協力開催

場所：エスフォルタアリーナ八王子（八王子市総合体育館 多目的室）

京王高尾線狭間駅前

参加：無料（出展も無料）

対象：福祉用具・介護・住まいと暮らし・健康づくりに関心のある全ての方

内容：＜展示＞

福祉用具・住宅改修・健康機器の展示

＜発表＞

同上を活用した取り組みのポスター・開発・試作品発表

＜セミナー＞

19日 11:00-12:00

「大きな一歩」長谷川体育施設所属 義足の陸上選手

100m/走り幅跳び 村上清加さん

お話・義足体験・最新義足紹介・一緒にランニング

19日 13:00-13:45

20日 15:45-16:30

「日本における車椅子バスケット競技の現状」

（一社）日本車椅子バスケットボール連盟 GRACE 所属(多摩市)

多智 利枝 さん（パラリピアン）

20日 11:00-12:10

「高齢者の安全運転」

「加齢と認知機能」

医療法人財団天翁会 新天本病院・医師 池田健氏

「高齢者の自動車免許制度」

（NPO）日本身体障運動者支援機構・理事長 佐藤正樹氏

*道交法改正で認知機能検査が始まります。

20日 15:00-15:20 介助犬のはたらき デモンストレーション

社会福祉法人 日本介助犬協会

＜相談・体験＞

健康づくり・福祉用具選びのための相談・測定・体験

問い合わせ：

事務局 〒193-0942 東京都八王子市櫛田町 583-15

(永生病院地域リハビリ支援事業推進室)

担当：石濱、神藤、木野田

TEL：042-661-4108 FAX：042-666-5881

E-mail：mher4th@gmail.com

URL：http://www.c-rehab.com/

(141) 新刊紹介

▼『自閉症スペクトラムの子のソーシャルスキルを育てる本 幼児・小学生編』

自閉症スペクトラムの子どもに必要なソーシャルスキルの基礎作りを紹介。幼児期から身につけたい「5つの基本スキル」、生活のなかでスキルを活用する方法、子どものモチベーションを高めるコツなどをイラストとともに解説。

監修：本田秀夫（ほんだ・ひでお）日戸由刈（にっと・ゆかり）

発行：講談社

本体価格：1300円（税別）

ISBN：978-4-06-259853-8

▼『知的障害児・者のスポーツ』

知的障害児・者が、生涯にわたってスポーツに取り組むための実践を紹介。小学部から高等部までの授業実践をはじめ、地域のクラブチーム、さらにはパラリンピックやスペシャルオリンピックスに向けた事例も掲載。

監修：丹野哲也（たんの・てつや）

編：全国特別支援学校知的障害教育校長会

発行：東洋館出版社

本体価格：2000円（税別）

ISBN：978-4-491-03269-6

▼『発達障害の僕が輝ける場所をみつけられた理由』

8歳で発達障害と診断された栗原類は、なぜ自分の才能を生かす居場所をみつけて輝けるようになったのか。モデル・タレント・役者として歩んできたこれまでの道のりを語る。母、主治医、又吉直樹のインタビューも収録。

著：栗原類（くりはら・るい）

発行：KADOKAWA

本体価格：1200円（税別）

ISBN：978-4-04-601777-2

▼『ADHDを抱えた小さな心の子 オンデマンド』

猫のミーを飼うようになってから、めっきり善くなっていた陸斗の多動・衝動優勢型ADHD。だが、ミーが交通事故にあってしまい…。ADHD傾向にある少年とその両親が、様々な出会いによって成長していく姿を描く。

著：中川めぐみ（なかがわ・めぐみ）

発行：ヒロエンタープライズ

本体価格：1300円（税別）

ISBN：978-4-908438-81-3

▼『福祉行政の基礎』

複雑で多岐にわたる「福祉行政」について、主要な福祉関連法や行政手法、福祉行政の歴史・動向などをわかりやすくコンパクトに解説する。地方分権時代の自治体職員に求められる基礎的知識を習得できるシリーズ。

著：山口道昭（やまぐち・みちあき）

編：北村喜宣（きたむら・よしのぶ）

発行：有斐閣

本体価格：2100円（税別）

ISBN：978-4-641-22709-5

▼『心は天につながっている ダウン症の書家、愛と勇気の贈りもの』

愛情が深く、哀しい人を助け、励まさずにはいられない天使のような娘との出会いを誇りに思う一。ダウン症の書家による心を揺さぶる作品と、母の祈りのようなエッセイを収録。『PHPほんとうの時代』『PHP』連載を書籍化。

書：金澤翔子（かなざわ・しょうこ）

文：金澤泰子（かなざわ・やすこ）

発行：PHP 研究所

本体価格：1400 円（税別）

ISBN：978-4-569-83404-7

（編集後記）

- 先週の日曜、自転車の鍵をなくしたため、鍵のかかった自転車の後輪を持ち上げながら、1 キロの道を休み休み、自転車店に運んだ。ものの1 分で鍵ははずれ、代わりの鍵を頼む段階になった時点で、さまざまな鍵があることを知った。
- スペアキー通常1 つが、2 つ付いているものがあり心が動いた。しかし、これはスペアの数の問題ではないと思直した。鍵がないタイプであれば、なくすことがない。そんな人向けと思われる製品が棚に並んでいた。0～9 までの数字が、2 列に凸状に並び、4 桁の暗証番号を押して、解除するタイプである。ホテルの部屋に設置されているセーフティボックスと同じ方式である。
- 長年求めていたモノに、出会えた時の喜びとは、こんな気持ちかと思った次第である。ただし、暗証番号を決して忘れてはならない！という課題は残っているのだが…。（星川安之）

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>